

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】

令和 4 年 6 月 3 日

評価対象事業		評価者	青少年課長	小林 瑞幸
こども-29	放課後子ども総合プラン等管理運営事業	■ 自治事務	主管課	青少年課
重点事業		□ 法定受託事務	関連課	—
総合計画上の位置付け	分野	子育て	施策の方針	子育て家庭への支援

1 事業の目的

対象	市内に居住する小学生及び乳幼児等
意図	全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うため。
効果	地域等の協力を得ながら豊かな時間を提供することで、次世代を担う児童の生きる力を育む。待機児童の減少を図る。

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 令和5年4月1日からの放課後かまくらっ子にかいどう・いなむらがさきの指定管理者制度導入に向け、子どもひろば条例、子どもの家条例の改正を行った。 令和4年4月1日から6施設の放課後かまくらっ子(だいいち・おなり・しちりがはま・ふじづか・おおふな・うえき)の管理運営を行う指定管理者を選定した。 令和4年4月1日から放課後かまくらっ子おさかの管理運営を行う指定管理者を選定した。 指定管理者の変更(だいいち・おなり)及び、指定管理者制度の導入(うえき・おさか)に合わせ、合同保育等準備業務委託を締結し、2カ月間の合同保育を実施した。 放課後かまくらっ子ふじづか・うえきについて、利用実態に合わせた部屋のレイアウト変更のための修繕を行い、子どもの家条例の改正を行った。 民間学童2事業者に対し、放課後児童健全育成事業運営費等補助金を交付した。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度		達成度
				指標(実績値/目標値)	事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値)	予算額(千円)	
01	放課後かまくらっ子指定管理委託料	年度協定書に基づき、指定管理料の支払い実施。	放課後かまくらっ子登録率	— / 37%	394,855 / 418,158	38%	436,596	—
02	合同保育等準備業務委託料	放課後かまくらっ子たまわについて、直営から指定管理者へ業務の引継ぎを実施。	—	— / —	1,525 / 18,865	—	4,962	—
03	子どもの家等賃貸借料	賃貸借契約に基づき、賃借料の支払い実施。	—	— / —	122,593 / 122,593	—	86,433	—
04	放課後かまくらっ子等維持修繕	各施設の修繕を実施。	—	— / —	7,862 / 8,500	—	14,436	—
05	放課後児童クラブ補助事業	放課後児童健全育成事業運営費等補助金を交付。	—	— / —	19,037 / 21,067	—	24,697	—
06	放課後かまくらっ子運営費等	謝礼、光熱水費、電信料、保険料等の支払いを実施。	—	— / —	14,780 / 10,917	—	1,860	—
07	おなり子どもの家引越し業務委託料等(初度調弁含む。)	新規	—	— / —	0 / 0	—	1,702	—
08								
09								
10								
		財源内訳	国県支出金	166,742 / 95,987	164,995			
			地方債	/				
			その他特定財源	12,656 / 14,026	6,231			
			一般財源	381,254 / 490,087	399,460			
			事業費の合計(千円)		560,652 / 600,100	570,686		
			人件費(千円)		162,198	111,704		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	6.0	6.3	5.4			
会計年度任用職員	136.0	88.0	54.0			

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、 目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、 構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	放課後かまくらっ子 指定管理委託料	令和2年度での全校開校を併せ 事業周知が広まったことにより 登録率が向上した。	民間事業者のノウハウを活用 し、サービスの向上を進めてい る。	—
02	合同保育等準備業務 委託料	指定管理者が変更となる場合、 引継ぎ業務は必須となるため指 標は設定しない。	放課後かまくらっ子の運営には 必要不可欠である。	—
03	子どもの家等賃貸借 料	賃貸借契約に基づき支払いを 行っているため指標は設定しな い。	放課後かまくらっ子の運営には 必要不可欠である。	—
04	放課後かまくらっ子等 維持修繕	利用児童の安全を確保するた めに、施設の維持修繕は必須と なるため指標は設定しない。	放課後かまくらっ子の運営には 必要不可欠である。	—
05	放課後児童クラブ補助 事業	鎌倉市放課後児童健全育成事 業運営費等補助金交付要綱に 基づき民間学童保育所に補助 金を交付しているため、指標は 設定しない。	多様なニーズに対応する民間学 童保育所の経営に寄与した。	民間学童保育所への補助金の在り 方について、事業所とのヒアリングを 行いながら見直しを図っていく。
06	放課後かまくらっ子運 営費等	放課後かまくらっ子の運営に は、光熱水費、電信料、保険料 等の支払いは必須であるため指 標は設定しない。	放課後かまくらっ子の運営には 必要不可欠である。	深沢子ども会館については、令和6 年度からの深沢地域整備事業による 基盤整備工事開始に伴い、令和5年 中に閉館する予定である。
07	おなり子どもの家引越 し業務委託料等(初度 調弁含む。)	新施設竣工後、令和4年度中に 移転に伴う引越業務を行う。	—	—
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか	2 統合に向けて検討できる事業がある
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済
		○-2 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-1 市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要な事業がある
		協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
すべての就学児童が、放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動ができる「新・放課後子ども総合プラン」を市内全16小学校区で実施しており、今後も異学年交流や地域交流を広げることで、地域づくりの拠点となるよう事業の推進を図っていく。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	放課後かまくらっ子登録率(登録者数/全児童数) 4月1日時点 ※指標設定は令和4年度から						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
本事業は、すべての就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことを目的としているため	目標値	—	—	38%	39%	40%	41%	
	実績値	34%	37%					
	達成率	—	—	—				

指標(単位)	地域人材・大学生等の外部人材と協働したプログラムの実施回数						単位	回/月
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
多世代間・地域と交流を図る拠点としての放課後かまくらっ子を推進していくため	目標値	4回/月	4回/月	4回/月	4回/月	4回/月	4回/月	
	実績値	1回/月	3回/月					
	達成率	25%	75%					

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	放課後子供教室設置割合(放課後子供教室数/公立小学校数)							
団体名	鎌倉市	藤沢市	逗子市	平塚市	茅ヶ崎市	葉山町		
他市実績	16校/16校	3校/35校	5校/5校	2校/29校	19校/19校	未実施		

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	令和2年12月で、平成30年から令和2年度の3か年で、市内全16小学校区全てで放課後子ども総合プラン(放課後かまくらっ子)を実施する計画(市長マニフェスト)を実現させた。放課後子ども総合プランの実施状況については、近隣市に比較すると、充実していると考えている。
--------------------------	--